

# 長狭高等学校創立 100 周年記念事業の基本方針

平成 31 年 4 月 23 日策定

令和 2 年 3 月 12 日一部修正

- 1 創立 100 周年記念事業の目的を効率よく達成するために、記念事業の有益性、推進上の課題を明確にして、事業を推進する。

## ○事業目的

- ① 先輩方が情熱を傾けて築き上げてきた業績や本校が安房・夷隅地域で果たしてきた社会的役割を再認識することで、今後の学校、同窓会、P T A の活動に活力を与えるとともに、内部の団結力を強める。
  - ② 記念事業を通して学校の環境整備、施設や生徒支援の充実を図り、在籍する生徒がこれまで以上に充実した教育を享受できるようにする。
  - ③ 在籍する生徒、同窓会員、P T A 会員それぞれにとって有益で思い出に残るイベントを実施し、母校に愛着の念を持てるようにする。
- 2 短期間で効率的に事業を運営できる体制を整える。
    - ・ 準備委員会を設けず、実行委員会体制を早急に構築する。
    - ・ 実行委員は実務を行うメンバーを中心に選出する。
    - ・ 実行委員会役員会は最低限のメンバー（25 名前後）で構成し、事業推進に関する重要事項を協議し決定する。
    - ・ 先を見通した会議運営に努め、実行委員会役員会等の会議開催回数を少なくする。
    - ・ 学校職員の負担を軽減する運営に努める。
    - ・ 記念誌は 50 周年、70 周年の原稿を有効に活用する。
  - 3 事業費用を軽減し、前回（70 周年記念事業）より寄付金が少なくても記念事業を展開できる内容とする。
    - ・ 来賓以外からは祝賀会で会費を徴収する。
    - ・ 記念誌等の印刷費や事務経費の縮減に努める。
    - ・ 費用のかさむ事業は計画しない。